

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

長野県飯綱町 飯綱町立飯綱病院

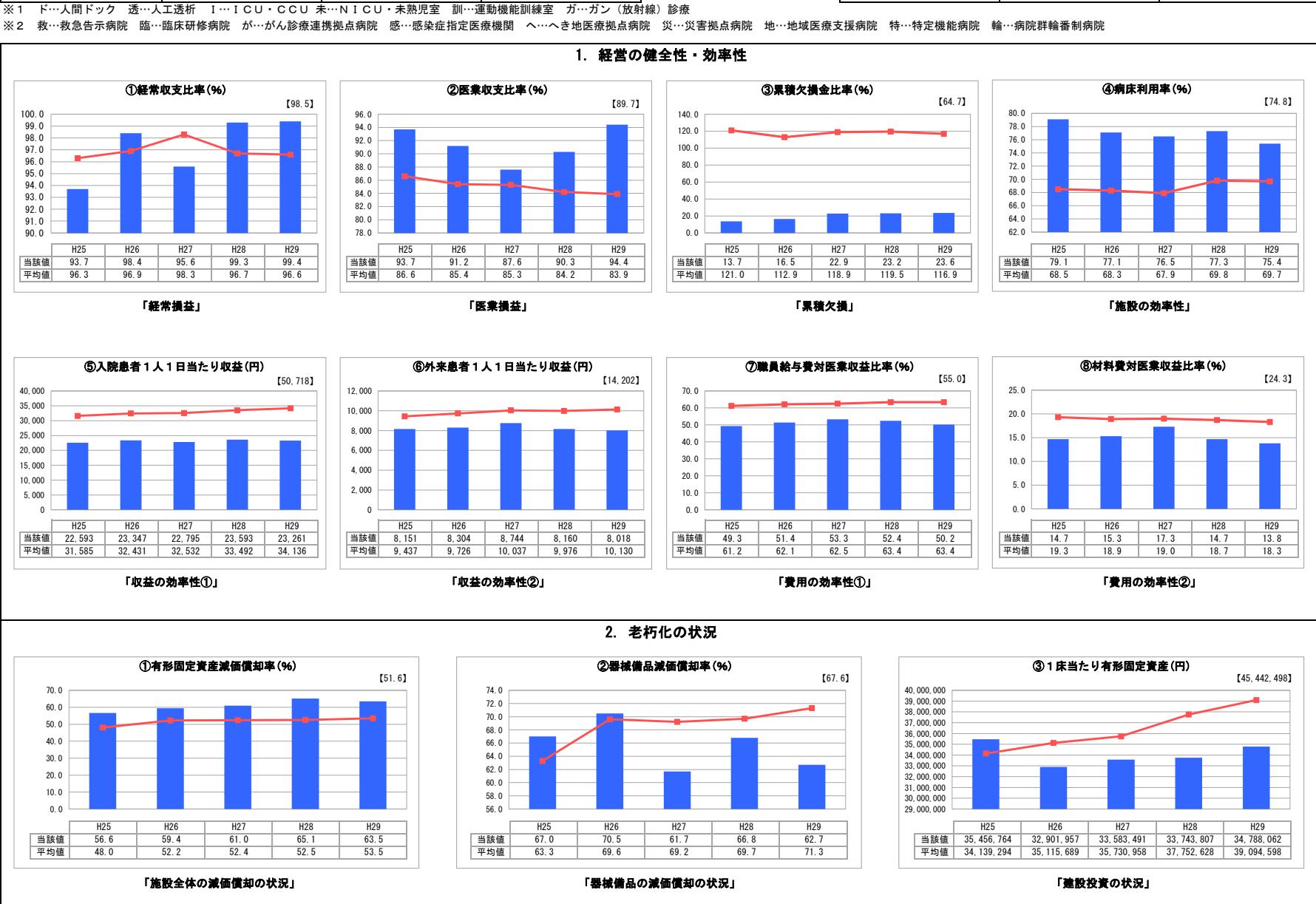
法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	15	-	ド透析	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
11,326	11,246	非該当	10 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
110	51	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	161
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
110	51	161

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
□ 平成29年度全国平均



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

**I. 地域において担っている役割**  
飯綱町内唯一の病院として、町内3診療所と連携して現在の15診療科を維持し、一次救急から二次救急の医療及び急救告示病院として24時間、365日、町民や地域住民の健康と命を守るために、安心と信頼の医療を提供しています。巡回困難な交通弱者に対する在宅医療及び慢性期医療並びに療養病床での医療を実施する一方で、急性期医療及び透析医療を実施して、安定的に継続して良質な医療を提供しています。

**II. 分析欄**

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、類似病院平均値・全国平均を上回り黒字を示す100%が目前となっています。②医業収支比率も類似病院平均値・全国平均を上回り、経営状況は良好と判断しますが、要因は減価償却費の減少です。③累積欠損金比率は、低い状況ですが増加傾向にあります。欠損金消滅に向け医師確保等を行い、医業収益増加による経常収支比率100%以上を目指します。④病床利用率は、類似病院平均値・全国平均を上回っていますが、少子高齢化による人口減少の影響で減少傾向にあります。⑤⑥1人1日当たり収益は、類似病院平均値・全国平均を下回っていますが、入院収益については、療養型病床も算入されているためであり、入院外収益については、がん診療（化学療法・外科手術等）が少ないことが考えられます。⑦職員給与費対医業収益比率は、類似病院平均値・全国平均よりも低く良好と判断しますが、医師数が少いことも要因の一つです。⑧材料費対医業収益比率は、がん診療が少ないため、低くなっていると判断しています。

**2. 老朽化の状況について**

①有形固定資産減価償却率は、類似病院平均値・全国平均よりも高く、病棟及び診療棟が築18年を迎えており、経年劣化による附属設備の更新が必要な時期となっています。②機械備品減価償却率は、平成27年に高額機器の更新を行ったため、類似病院平均値・全国平均よりも低く、計画的な機械備品の更新が行われていると判断します。③④床当たり有形固定資産は、類似病院平均値・全国平均よりも低いことから、過大投資はないと判断できます。

建物附属設備では法定耐用年数を超えた設備が見受けられ、計画的な更新が必要な時期が近づいています。

**全体総括**

病棟及び診療棟の増築から18年が経過し老朽化が進む中で、附属設備及び機械備品の計画的な更新が必要な時期となっています。

また、入院外患者1人1日当たり収益の伸び悩みに加え、少子高齢化が進む中で一定の患者数の確保が経営を安定させる唯一の方法と確信しています。

そのためには、地域医療提供病院としてのスタンスを保ち、安定的に継続した良質な医療の提供が必須となります。

飯綱病院の理念「地域のみなさまの命を守り、みなさまと共に保健予防活動を推進し、救急からリハビリまで、一貫した質の高い確かな医療を提供し、病院をこよなく愛し「和」をもって、さわやかな魅力ある病院を目指す」ことが、安定的な病院経営に資することになります。